

2021年度 重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成 FAQ

分類	NO	Q	A
全般	1	新型コロナウイルス感染症の影響をどのように考慮して申請したらよいか。	新型コロナウイルス感染症に限らず様々なリスクを考慮し、活動が継続できる支援事業を評価します。助成決定後に想定以上の環境変化が発生し実行項目の内容・スケジュール・予算を変更する場合は、柔軟に個別対応を行う予定です。
全般	2	過去の助成実績について知りたい。	重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成実績は以下の通りです。（年度は活動年度） 2016年度助成：応募 15 件、採択 7 件 助成総額約 1,090 万円 2017年度助成：応募 23 件、採択 8 件 助成総額約 1,060 万円 2018年度助成：応募 18 件、採択 8 件 助成総額約 1,100 万円 2019年度助成：応募 26 件、採択 7 件 助成総額約 840 万円 2020年度助成：応募 30 件、採択 6 件 助成総額約 900 万円 採択事業や事業報告書は、下記サイトページのアーカイブをご確認ください。 https://benesse-kodomokikin.or.jp/subsidy/
全般	3	助成事業で対象にできる「子ども」とは何歳までか。	20歳前後までを想定しています。
全般	4	重い病気を抱える子どもを対象とあるが、具体的にどのような子どもか。	病名は特定していません。常に病気と向き合い、療養を必要としながら、病院や自宅で生活している子どもが対象です。
全般	5	応募にあたって事前相談をすることは可能か。	事前相談会を予定しております。詳細は、当財団サイトのNewsやFacebookをご確認ください。
応募資格	1	ボランティア団体など法人格が無くても申請可能とあるが、任意団体も対象となるか。	はい、任意団体も対象となります。営利事業を目的とする団体でなければ、法人格の有無なく応募できます。数名だけの団体も応募可能です。ただし、個人名義の口座への助成金の振込はできませんので、団体口座が必要です。
応募資格	2	株式会社や有限会社がCSR活動などの一環として実施する営利を目的としない事業は対象となるか。	事業主体である団体が、営利を目的としている株式会社や有限会社等の場合は対象となりません。
応募資格	3	設立が今年度のため、決算資料等がない。新規の団体でも応募できるか。	応募可能です。応募書類提出の際は、①「助成申請書」、②「当年度事業計画」、③「当年度収支予算書」をお送りください。
応募資格	4	今年度、他の機関から助成を受けているが同じ活動事業について申請可能か。	別機関から助成を受けていても、二重申請とならなければ問題ありません。
助成金	1	助成総額はいくらか。また、1事業あたりの助成金額の規定はあるか。	助成総額は1,000万円以内の予定です。1事業あたりの金額は規定しませんが、50～200万円程度を想定しています。申請された内容を審査して、個々に額を決定いたします。
助成金	2	1事業あたりの申請金額が50万円に満たない／200万円を超える場合でも申請可能か。	申請金額が50万円未満／200万円以上場合は、その金額で申請してください。申請内容を審査して、個々に額を決定いたします。
助成金	3	助成金はいつ、どのように支払われるか。	助成金のお振込み時期は、2021年1月末を予定しています。採択後にお伺いするご指定の銀行口座にお振り込みします。
助成金	4	助成対象の費用に規定はあるか。	助成対象期間の申請事業に対してかかる活動費用が対象になります。 ※団体を運営するための人件費や管理費（オフィス賃借料など）については、助成対象になりません。
助成金	5	団体の人件費も助成の対象か。	助成対象期間の申請事業に対してかかる人件費については助成の対象になります。 ※申請事業に関与しない団体運営の役員やスタッフの人件費は、団体運営費とみなし対象になりません。
助成金	6	外部講師や、学生ボランティア、アルバイトに支払う報酬は対象か。	団体を運営するための人員ではなく、助成対象期間の申請事業に対してかかる人件費であれば対象となります。
助成金	7	申請事業以外でも共有しているオフィスの家賃・人件費・備品などを按分して計上することは可能か。	根拠をもって明確に金額を切り分けられることができれば、按分して費用計上することが可能です。
助成金	8	申請時の予算金額の精度はどのくらいを想定しているか。採択後の変更は認められるか。	申請時は概算でも可能です。ただし、根拠は明確に記載してください。採択後に想定以外の費用項目が発生した場合などは、変更内容の必然性の確認をさせていただきます。変更基準などの詳細は、採択後にお知らせします。

助成金	9	予算中の自己負担金の限度はあるか。	特に制限や限度は設けておりません。
申請	1	申請書のページ数に上限や規定はあるか。	ページ数の上限や規定はありません。
申請	2	申請書類②「当年度 事業計画」、③「当年度 収支予算書」、④「前年度 会計報告」の形式に規定はあるか。	貴団体の形式で構いません。昨年度の会計状況と、今年度どのように団体を運営されていくかが分かる資料のご提出をお願いいたします。
申請	3	他の機関から助成金を受けている場合、申請書に記載すべきか。	申請書（8）予算の欄に、（C）他の財源を記載する欄がありますので、ご記入ください。
申請	4	団体の活動紹介冊子などを同封してよいか。	審査の対象とはなりません。参考資料として同封いただくことは問題ありません。
選考	1	選考プロセスについて知りたい。	申請書類の内容で審査をいたします。不明点などがあった場合は、当財団より確認のお電話をさせていただく場合があります。面接はありません。
選考	2	審査結果の理由は教えてもらえるか。	個別の審査結果については開示しておりません。助成選考結果のご報告の際に、選考委員長からの総評を開示しております。 【参考】2020年度（2019年度募集）重い病気を抱える子どもの学び支援活動助成 選考結果のご報告資料 https://benesse-kodomokikin.or.jp/doc/2019jyosei2kekka.pdf
選考	3	早く応募すれば、早く審査結果が分かるか。	応募締め切りまでに集まった申請書をまとめて11月末までに審査いたします。そのため、早くご応募いただいても、審査結果のご連絡は12月になります。
助成決定後	1	活動期間中、出席義務のある進捗確認会や報告会はあるか。	活動期間開始後すぐに団体訪問をさせていただき、申請事業の内容や1年間のすすめ方を確認する機会を設けます。年に数回、採択団体同士の交流会や勉強会などを予定しています。
助成決定後	2	活動期間中の進捗報告の頻度や形式は決まっているか。	活動期間中の報告回数は設けておりません。適宜コミュニケーションをとりながら進捗確認ができればと思います。活動期間終了後は、年間の事業活動の結果をまとめた報告書をご提出いただけます。
助成決定後	3	申請時の重点実行項目の内容や予算に変更が発生した場合、認められるか。	ご提出いただいた変更内容と理由を確認し、変更内容の妥当性や申請事業の目的を達成できると判断した場合、承認しています。変更基準などの詳細は、採択後にお知らせします。※助成金額の変更はできません。
助成決定後	4	活動期間内に事業が終了できなかった場合、期間延長は可能か。	団体の事情による活動期間の延長はできません。
助成決定後	5	活動期間終了後に、成果報告会はあるか。	成果報告会は想定しておりません。活動期間終了後は、年間の事業活動の結果をまとめた報告書をご提出いただけます。